

満開の桜と共演 ブルーインパルス展示飛行



4月9日（土）、10日（日）、日本三大夜桜で知られる上越市高田城址公園において、航空自衛隊第4航空団第11飛行隊（ブルーインパルス）の展示飛行が行われました。これは市制50周年記念を迎えた上越市の要望により実現したもので、9日のリハーサル、10日の本番とも雲一つない青空が広がり4000本の桜が満開を迎え絶好のタイミングとなりました。ブルーインパルスは6機の一糸乱れぬ編隊飛行や青空に大きなハートや桜と共演するように六つの輪でサクラを描くなど観客を魅了、大きな歓声と惜しみない拍手が送られました。

朝一番の新幹線で上越市に来た女性は、「空に描かれた桜や素晴らしい演目に感動しました。2日間とも良い天気ですブルーインパルスの展示飛行を見ることができて良かった。」また地元上越市の家族連れは、「7年前のリベンジ！最高の演目を子供と上越市で見ることができ誇りに思います。」など、新潟県上越市での展示飛行を楽しみにしていた観客は笑顔に充ち溢れていました。



9日のリハーサルの後には、ブルーインパルスのパイロットや整備員のトークショーが行われ、司会者の司会進行で任務に対する思いや業務上のエピソードが語られ、後半には来場者からの質問コーナーも設けられるなど一層身近に感じられるものとなりました。また、最後に子供達へのサインのプレゼントがあり、子供達は優しく微笑む隊員から憧れの眼差しで受けとっていました。新潟地本は広報募集ブースでブルーインパルスオリジナル缶バッチを配布、制服試着・自衛隊説明コーナーを設置するなど、広報活動を行いました。多くの観客がブースを訪れ、制服を試着しての記念撮影する家族連れ的笑顔で溢れていました。新潟地本はブルーインパルス同様、人々を笑顔にする広報活動を今後も実施していきます。

